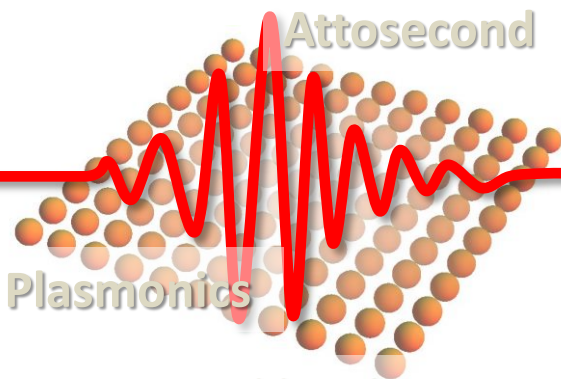


# テラヘルツ・赤外領域強電磁場による 極限非線形現象の光科学と応用展望

平成28年3月19日(土)13時～16時 会場:H135

近年、位相の決まったコヒーレントな高強度光源がテラヘルツ・赤外領域で利用可能となり、固体物質における様々なコヒーレント極限非線形現象が観測されるようになってきました。本シンポジウムは、これらの研究の最先端を概観し、その普遍性と応用展開の可能性を議論する場として企画しました。

## Infrared



Dynamical localization

岩井伸一郎(東北大学理学研究科)  
赤外パルス誘起相変化と極限非線形性

板谷治郎(東京大学物性研究所)  
位相固定パルスのアト秒への応用

芦原聡(東京大学生産研究所)  
中赤外プラズモン場と光電子放出

平川一彦(東京大学生産研究所)  
ナノギャップのテラヘルツトンネリング

廣理英基(京都大学iCeMS)  
テラヘルツ領域の極限非線形応答

栗原貴之(東京大学物性研究所)  
磁気材料のテラヘルツ制御

永井正也(大阪大学基礎工学研究科)  
テラヘルツ光による脱離イオン化

## Terahertz

